

山岳遭難発生状況

(令和7年1月1日～令和7年5月11日)
地域部 山岳安全対策課

1 山岳遭難発生状況（暫定値）（令和6年数値は1月1日からの同期間数値）

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
令和7年	87	18	4	40	39	101
令和6年	85	15	0	33	50	98
前年同期比	2	3	4	7	-11	3

2 山域別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
北ア	槍穂高	9	10.3%	3	0	2	5
	後立山	18	20.7%	4	0	9	12
	その他	12	13.8%	0	0	10	4
計	39	44.8%	7	0	21	21	49
中央アルプス	9	10.3%	3	1	3	3	10
南アルプス	2	2.3%	0	1	1	0	2
八ヶ岳連峰	12	13.8%	3	0	7	3	13
その他の山岳	25	28.7%	5	2	8	12	27
計	87		18	4	40	39	101

3 態様別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	31	35.6%	12	0	21	0	33
転倒	16	18.4%	1	0	15	0	16
病気	5	5.7%	2	0	0	3	5
道迷い	16	18.4%	0	0	0	23	23
落石	1	1.1%	0	0	1	0	1
雪崩	1	1.1%	0	0	0	1	1
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	1	1.1%	0	0	0	2	2
不明・他	16	18.4%	3	4	3	10	20
計	87		18	4	40	39	101

4 男女別・年齢別比率

区分	男性					(人)比率	女性					(人)比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
19歳以下	0	0	0	3	3		0	0	0	0	0	3		
20代	0	0	1	7	8	22	0	0	1	4	5	13	30	
30代	2	2	3	4	11	27.8%	0	0	1	2	3	14	29.7%	
40代	4	1	7	2	14	34	1	0	2	1	4	18	44	
50代	5	0	6	9	20	43.0%	0	0	6	0	6	26	43.6%	
60代	3	0	7	6	16	23	0	0	4	0	4	20	27	
70以上	3	1	2	1	7	29.1%	0	0	0	0	0	7	26.7%	
計	17	4	26	32	79		1	0	14	7	22	101		
比率	78.2%						21.8%							

(※ 比率の計は、小数点の調整上、一致しない場合あり。)

先週の発生 (5/7~5/11)

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
5月7日	鳥甲山	男	71	行方不明	不明	単独で鳥甲山に入山し、行方不明
5月8日	白砂山	女	45	死亡	滑落	単独で白砂山に入山し、何らかの原因により、滑落
5月8日	恵那山	女	26	無事救出	道迷い	単独で恵那山から下山中、道に迷い、行動不能
5月9日	御座山	女	55	負傷	転倒	5人パーティで御座山から下山中、転倒、負傷
5月9日	北アルプス 北燕岳	男	64	無事救出	道迷い	単独で餓鬼岳から燕岳に向け縦走中、道に迷い、行動不能
5月9日	南アルプス	男	41	行方不明	不明	単独で飯田市南信濃芝沢ゲートから入山し、行方不明
5月11日	四阿山	男	57	死亡	発病	トレイルランニングの大会中に、発病

山岳安全対策課からのアドバイス

先週県内では、2件の死亡遭難と2件の行方不明遭難を含む7件の山岳遭難が発生し、うち5件は単独登山によるものです。

単独登山は、登山者自身のペースで登れるなど、単独ならではのメリットがある一方、多くのリスクがあることを理解した上で登山をしましょう。

単独登山をされる方は、

- 登山計画書を提出する
- 家族や知人に詳細な予定(行先)を伝える(登山計画書を共有する)
- 登山用GPSや登山地図アプリを活用する
- 無理のない計画を立てる

等の対策をし、安全登山を心掛けましょう。

また、これからの季節は、気温も高くなっていくことから、疲労の軽減や熱中症対策のためにもこまめに休憩を心掛け、水分とエネルギーを積極的に補給しましょう。